

日本オセアニア学会第33回研究大会・総会プログラム

2016年3月18日(金)13:30~19日(土)12:00(予定)

マホロバ・マインズ三浦

[理事会・評議会]別館10階 小会議室

[研究大会・総会]別館10階 大会議室

[宿泊]本館客室

3月18日(金)

11:00 理事会

12:00 評議会

(12:30 受付開始)

13:30 開会・会長挨拶

<第1セッション> 座長：深山直子(東京経済大学)

13:40 猪飼美帆(神戸大学大学院)「ソロモン諸島における食の現在」

14:00 田所聖志(秋田大学)・梅崎昌裕(東京大学)「パプアニューギニア高地における天然ガス開発が人々の食生活に与えた影響」

14:20 土井冬樹(神戸大学大学院)「『マオリの』な活動の場としての観光施設 仕事から『マオリの』な活動への読み替え」

14:40 小林誠(首都大学東京大学院)「『沈む島を見に行こう』 気候変動の被害とツバルにおけるダークツーリズム」

(15:00 コーヒーブレイク)

<第2セッション> 座長：小野林太郎(東海大学)

15:10 石村智(東京文化財研究所)「気候変動と文化遺産」

15:30 臺浩亮(慶應義塾大学大学院)「植民地期の造形物 獨領ニューアイルランドで収集されたマランガン彫像の意匠分析とその時空間分布」

15:50 印東道子(国立民族学博物館)「フェイス島からみたカロリン諸島の先史文化」

16:10 古澤拓郎(京都大学)「インドネシア・スンバ島在来暦法の生態学 ゴカイ類群泳・農耕・宇宙から」

(16:30 コーヒーブレイク)

16:40 総会

石川榮吉賞授賞式・受賞講演 吉岡政徳「オセアニアと文化人類学研究」

日本オセアニア学会賞授賞式(18:00 終了予定)

19:00 食事・懇親会

3月19日(土)

8:00 食事

8:30 ミニ・シンポジウム打ち合わせ

<第3セッション> 座長：山本真鳥(法政大学)

9:00 矢野涼子(神戸大学大学院)「1870年代サモアにおける『政府』の設置」

9:20 倉光ミナ子(天理大学)「『日本で20年以上を生きて』 在日サモア人妻たちの経験」

9:40 吉田裕美(岡山大学)「ハワイアン、『ローカル』、ハオレ 語りの中で構築されるアイデンティティ」

10:00 井上昭洋(天理大学)「先住ハワイ人『主権』運動の現在 アロハ・アイナ・ユニティ・マーチを通して考える」

(10:20 コーヒーブレイク)

<ミニ・シンポジウム>

10:30 『オセアニアの感染症』 司会：古澤拓郎(京都大学)

山本真鳥(法政大学)「趣旨説明」

中澤港(神戸大学)「オセアニア地域のデング熱」

塚原高広(東京女子医科大学)「オセアニア地域におけるマラリアとその対策」

一盛和世(元WHO)「オセアニア地域におけるリンパ系フィラリア症対策計画(PacELF)とその成功」

コメンテータ：関根久雄(筑波大学)

12:00 閉会